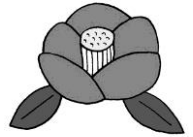


【年頭にあたって送る言葉】

- ・“置かれた場所で咲きなさい”～境遇を選ぶことはできなくても、生き方を選ぶことはできる～ 渡辺和子著
- ・“世界に一つだけの花”～ナンバーワンより、オンリーワン～ 槇原敬之 作詞

“NO1にならなくてもいい もともと特別な only one そうさ 僕らは世界に一つだけの花
一人一人違う種を持つ その花を咲かせることだけに一生懸命になればいい 小さい花や大きな花
一つとして同じものはないから NO1にならなくてもいい もともと特別な only one “

この曲を聞くと、いつもI君のことを思い出す。・・・忘れられないI君のこと・・・



私が養護教諭だったもう10年以上前のある4月、とても優しく人当たりのいいI君が入学してきた。沢山の健康診断で忙しい中、男性の先生が「早くしろ!」と急かしても、I君はなかなか受診せず後へ後へと遅れていった。私はその時「あれ、もしかして」と思い、「I君、最後にする?終わったら教えてね」と言って部屋の外で待っていた。I君は一言「先生、ありがとう」と授業に戻って行った。

2年生の修学旅行、班別研修の長崎市内でのこと、オランダ坂の近くに、鹿鳴館のドレスを試着体験ができる店があり、女子高生であふれていた。市内を巡回していた私は、女子生徒たちの可愛さに見とれていた。その中に一際可愛くて、ドキッとするくらいドレスの似合うとても綺麗な女子生徒がいた。・・・I君だった。それはドレスでもなく、ティアラでもなく、こころの内からあふれ出る清楚な美しさを感じた。「うわっ、綺麗!」と思わず声が出た。卒業後、町のコンビニで度々I君を見かけた。「いらっしやいませえ〜」「ありがとうございましたあ〜」I君は、丁寧で明るくて、とても感じのいいポニーテールをした、Iさんになっていた。

まだ、LGBTの知識や情報も薄かった頃のことだ。今思うとI君は身体が男性で、こころが女性のトランスジェンダーだったかもしれない。しかし、I君のありのままの生き方は、周りの偏見や差別を掻き消すほど、説得力があった。私はとても大切なことを学んだ。

I君は、置かれた境遇で、生き方を選んだ、とっても素敵なOnly oneだった。

☆ カウンセラーの先生方が来校されます ☆

本校には次のカウンセラーの先生方が毎月来校されます。「つらいけれど、どうしていいかわからない」という人、「よく眠れない」「食欲がない」「体調が良くない」などの症状がある人は、ぜひ先生方に相談してみてください。秘密は守られますので安心してください。

《カウンセラーの先生と1月の相談日》

- **高橋 悦子先生** (本校教育相談専門員)
スクーリングのある日曜日 午前11時～午後4時
毎週火曜日、木曜日 12時30分～17時30分
- **堀 智哉先生** (各務原病院 臨床心理士)
毎週月曜日、金曜日 19時～21時 (27日は除く)
- **鷲見 栄子先生** (社会福祉士)
毎週金曜日 14時～16時

☆生徒のみなさんへ…**面談は予約制**です。HR担任、教育相談係(小川)、養護教諭(保健室:本館1階)の先生のいずれかに申し込んでください。

★保護者の方へ…カウンセラーの先生との面談は、保護者の方のみでも受け付けます。お申し込みは、通信制教育相談係(小川)までお願いします。

電話番号は(058)275-7185です。どうぞお気軽に申し込んでください。

★本校の特別支援教育コーディネーターは小川です。何かございましたら、遠慮なくご相談ください。